

**学校教育自己診断の結果と分析** [令和5年12月実施]**【全体】**

・「他の学校にない特色がある」と肯定的に回答した生徒、保護者、教職員が増加した。また、「本校に来てよかった」「本校の取組は将来に役立つ」「共生社会に向け努力している」と回答した生徒の割合も、微減傾向にはあるが、依然として高い水準を維持している。同じ項目における教職員の回答の肯定率がすべて上昇していることも踏まえ、学校として生徒の期待に応えていくことができるよう、今後も取組んでいきたい。

・「教職員が協力している」と回答した生徒及び教職員の割合がさらに増加し、過去5年間での最高値を更新した。引き続き協力協働の体制づくりに努めたい。

・「地域との交流」について肯定的に回答した生徒及び教職員の割合が増加に転じた。コロナ禍による制限がなくなったこともあり、さらなる活性化を図りたい。

\* 「他の学校にない特色がある」 生徒 94.9% 《昨年 94.5%》 保護者 96.5% 《昨年 95.2%》  
教職員 100% 《昨年 94.5%》

\* 「本校に来て（行かせて）よかった」 生徒 82.0% 《昨年 82.2%》 保護者 93.3% 《昨年 92.2%》

\* 「本校の取組は将来に役立つ」 生徒 85.2% 《昨年 86.3%》 教職員 97.6% 《昨年 89.1%》

\* 「共生社会に向け努力している」 生徒 91.5% 《昨年 91.6%》 教職員 95.1% 《昨年 82.2%》

\* 「教職員が協力している」 生徒 83.2% 《昨年 79.8%》 教職員 92.7% 《昨年 84.8%》

\* 「地域とかかわる機会がある」 生徒 33.2% 《昨年 32.5%》 教職員 68.3% 《昨年 34.1%》

**【授業】**

・「主体的な学習のための授業の工夫」「視聴覚機器やICTの活用」については、総じて肯定率が高く、意欲的な授業実践の成果が窺える。また、「論理的に考え表現する力」「他者と協働する力」「探究する力」の育成に関しても高水準を示している。コアカリキュラムや各授業のさらなる充実を学校全体でめざしていきたい。

・課題であった「家庭学習に向けての工夫」については、生徒及び教職員の双方で肯定率が増加に転じた。「スタディサプリ」の活用をさらに定着させるなど、学習習慣の確立を図りたい。

\* 「主体的な学習のための授業の工夫」 生徒 79.2% 《昨年 79.0%》 教職員 97.4% 《昨年 95.6%》

\* 「視聴覚機器やICTの活用」 生徒 92.1% 《昨年 91.1%》 教職員 94.9% 《昨年 93.2%》

\* 「論理的に考え表現する力が伸びている」 生徒 76.5% 《昨年 77.7%》 教職員 82.1% 《昨年 75.0%》

\* 「他者と協働する力が伸びている」 生徒 83.7% 《昨年 84.2%》 教職員 97.4% 《昨年 81.8%》

\* 「探究する力が伸びている」 生徒 83.1% 《昨年 80.2%》 教職員 84.6% 《昨年 83.7%》

\* 「家庭学習に向けての工夫」 生徒 62.1% 《昨年 55.3%》 教職員 43.6% 《昨年 34.9%》

**【人権】**

・「多様性を尊重し異なる考えの人ともコミュニケーションできる力の育成」について、生徒、保護者ともに肯定的な回答が増加傾向にある。本校の根幹をなす「学校開き」「クラス開き」「託すHR」の取組のサイクルをしっかりと根付かせ、違いを認め合える集団育成をいっそう進めていきたい。

・「いじめ対応」については、生徒の肯定率は上昇している一方で、保護者の肯定的な回答が減少に転じた。しっかりと取組んでいくことで保護者の理解や信頼に繋げたい。

\* 「多様性を尊重し違いを認める力の育成」 生徒 88.6% 《昨年 86.0%》 保護者 86.6% 《昨年 83.7%》

- \* 「いじめなどを見逃さず対応している」 生徒 80.6% 《昨年 79.2%》 保護者 78.7% 《昨年 82.5%》

### 【進路】

・「進路について考えるための必要な情報や機会の提供」「HRや面談での進路指導」「放課後講座や模試」について、生徒、保護者、教職員のすべてで高い肯定率が表れている。今後も進路保障に向けた取組の充実を図りたい。

- \* 「進路について必要な情報や機会の提供」 生徒 87.9% 《昨年 85.1%》 教職員 82.5% 《昨年 80.0%》
- \* 「HRや面談で進路について指導している」 生徒 85.8% 《昨年 88.2%》 教職員 92.3% 《昨年 83.3%》
- \* 「放課後講座や模試などに取組んでいる」 生徒 81.9% 《昨年 81.9%》 教職員 80.0% 《昨年 79.5%》

### 【生徒指導】

・「自分をコントロールする力（自律心）が育っている」と肯定的に回答した生徒及び教職員の割合は増加傾向が続いている。日常生活を通じて生徒の主体性や規範意識をさらに高めていきたい。

- \* 「自律心や自立心が育っている」 生徒 83.4% 《昨年 82.9%》 教職員 67.5% 《昨年 63.0%》

### 【特別活動】

・課題であった「部活動」について肯定的に回答した生徒及び教職員の割合が増加に転じた。一方、「生徒会活動」については、生徒の肯定的回答の微減が続いているが、教職員の肯定率は大幅に上昇している。取組の成果を生徒たちの達成感に繋げたい。

・「学校行事」に対して肯定的な生徒が増加傾向にあり、教職員の肯定率も大きく上昇した。引き続き生徒の主体的な活動をよりいっそう支援していきたい。

- \* 「部活動に積極的に取組める」 生徒 78.1% 《昨年 77.0%》 教職員 74.4% 《昨年 63.6%》
- \* 「生徒会活動は自主的に行われている」 生徒 84.2% 《昨年 85.4%》 教職員 92.5% 《昨年 86.7%》
- \* 「学校行事に楽しく参加できる」 生徒 86.3% 《昨年 82.4%》 教職員 92.7% 《昨年 82.2%》

### 【その他】

・「学校情報の発信」についての生徒、保護者、教職員の肯定的な回答がさらに増加している。ホームページやパンフレットのリニューアルが大きな成果をあげた結果だと考えられる。

・「学校行事に参加した」と肯定的に回答した保護者の割合も一段と増加した。引き続き保護者の参加を促進し、学校への理解や協力の深化を図りたい。

・「働き方改革」に関する教職員の肯定的回答もさらに大きく上昇しており、取組の定着が感じられる。今後も継続的に進めていきたい。

- \* 「学校は情報を提供するため努力している」 生徒 78.7% 《昨年 75.1%》 保護者 85.6% 《昨年 82.7%》  
教職員 92.7% 《昨年 84.4%》
- \* 「学校行事に参加したことがある」 保護者 80.2% 《昨年 56.8%》
- \* 「業務の効率化に努力している」 教職員 85.4% 《昨年 76.1%》